

令和2年6月1日

「非常事態宣言」解除後の当院の対応

座間総合病院 病院長 渡 潤

5月25日、神奈川県でも非常事態宣言が解除されました。

しかしながら、新型コロナウイルスの感染リスクが完全になくなったわけではありません。

当院ではかねてより「入口での問診・体温測定」をはじめとして「ご面会の制限」や「清掃の徹底」、「職員の感染防止対策」などを行っておりました。引き続き、みなさまが安心して「いつも通り」の生活や、安心して受診いただける状況を取り戻すことができるよう、これらの対策を継続してまいります。

また、それでもご心配な方のために電話診療などの対応も拡大しております。不安なことがありましたら、お気軽にご相談ください。

座間総合病院では、いつも通りの生活を取り戻すことができますよう、職員一同取り組んで参ります。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

◆ 正面玄関での簡易問診・体温測定

患者さんに安心してご受診いただくため、また、職員を含めた病院にいる方を新型コロナウイルス感染症から守るため、

病院正面入り口で、来院されるすべての方に対して簡易問診と体温測定を実施しております。



入口で問診のご協力をお願いします

問診・体温測定の結果、当日および1週間以内の37.0°C以上の発熱や風邪症状のある方は診察室を別けて診察を行っています。



問診の後に、体温を測定いたします

◆ 職員の体調管理・感染防止対策

職員は毎日体温測定を行うなどの体調管理を行い、体調不良や発熱の際は出勤しないようにしています。また勤務時は、マスク・ゴーグル（眼鏡）など感染防護具の着用を徹底しています。

患者さん対応ごとに手指消毒を行い、特に患者さんと接触頻度の多い医療スタッフ（看護、リハビリスタッフ）は、手指消毒剤を携帯して手指衛生に努めています。

職員食堂や会議室は距離を取った上で利用し、職員間での感染防止を心がけています。

◆ 清掃

診察室、検査室、受付など、接触頻度の高い場所（ドアノブ、手すり、タッチパネル等）の清掃を強化しています。

患者さんに使用する医療機器も使用した後は、全て拭きとり掃除を実施しています。

◆ 入院・リハビリ患者さんへ

入院患者さん用のトイレ・病室に手指消毒剤を設置し、ご利用できるようにしております。リハビリ室では人数制限や距離を開けるなど、患者さん同士が「密」にならないように対策をしています。

リハビリ器具やリハビリ用ベッドも患者さんがご利用後ごとに毎回清掃しています。

◆ 面会等の禁止

現在、入院患者さんのご面会を原則禁止としております。

入退院時の付き添いや病院からの呼び出しなど、特例で入館できる場合でも下記の条件がございます。

- ・入館可能な時間は 12：00～19：00 の間とする
- ・来院者は 1 名のみ
- ・マスクを必ず装着する
- ・受付で問診票の記入と体温測定をおこなっていただく
- ・体温測定時、熱が 37.0℃未満である

◆新型コロナウイルス陽性患者の対応

当院は感染症指定病院ではなく、新型コロナウイルスの陽性患者さんの受け入れ、治療は行っておりません。院内で陽性の患者さんが発見された場合は、速やかに転院等の手続きを行います。

また、陽性患者さん専用の受け入れ先として、当法人では、関連施設の海老名総合病院が＜東館＞を設置いたしました。

＜東館＞は、海老名総合病院の＜本館＞と切り分けて医療を提供しております。

*海老名総合病院＜本館＞および＜東館＞についての情報は、海老名総合病院のホームページをご参照ください。

<http://ebina.jinai.jp/about/>